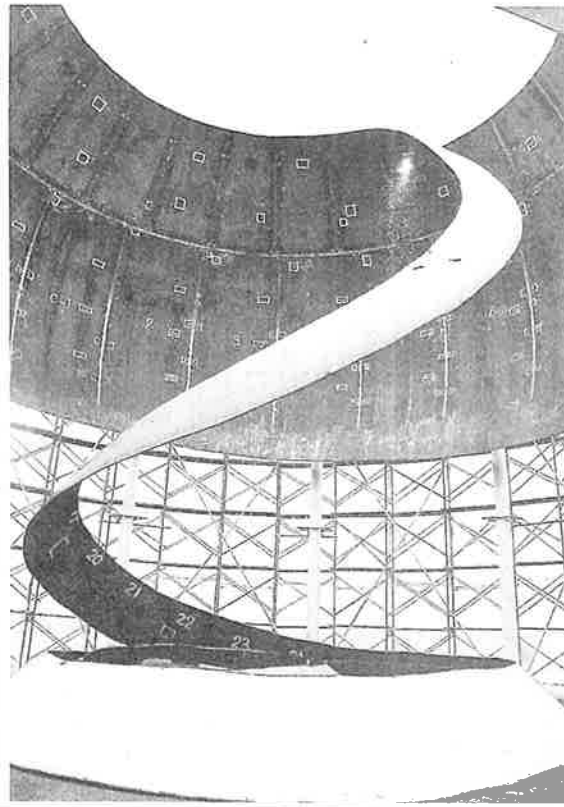


# タンクくるくる皮むき

## 足利で解体工事



リンゴの皮をむくように解体されたガスタンク(18日、足利市で)

足利市伊勢町の「足利ガス」本社供給所にあるガスタンクで、球形のタンク外装の鋼板を、まるで「リンゴの皮むき」のように切断していく珍しい工事が先週、行われた。タンク上部から鋼板を渦巻き状に細長く切っていく、切り離れた部分は重みで自然に地上に下りていく。

同社によると、タンクは直径約18メートル、容積約3000立方メートルで、1970年に建設された。工事などで一時的にガスの輸送管が使えなくなる場合に、代わりにこのタンクから各家庭にガスを供給してきた。

近年は輸送管の整備も進み、役目を終えたことから、2基あるうちの1基の解体が決まり、今月初旬から工事が行われていた。

「リンゴ皮むき工法」は東京都内のプラント解体会社が開発した工法で、工期短縮や経費削減のメリットがある。年間10基ほどのタンクがこの方法で解体されるという。